

平成 16 年 (2004 年) 2 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書 (1 日目)

平成 16 年 3 月 1 日 (月)

市 民 の 会 50 分

割当時間 (答弁を除く) 市民・社社ネット 50 分

自 民 ク ラ ブ 45 分

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	亀 島 賢 優 (市民の会)	1 市政全般について	(1) 翁長市長の任期は 4 年目を迎えたが、市長選に立候補するにあたり掲げた市民との公約は、どの程度実現もしくは芽出しできたと思うか。この間の市政運営の成果を自己採点すると、何点ぐらいだと思うか伺う (2) 来る 11 月の市長選挙に、再度立候補する意志はあるか伺う (3) 合併特例法の期限が来年 3 月末に迫る中で、本市にあっては、近隣離島村との合併を目指すのか、それとも断念するのか伺う (4) 平成 16 年度から実施される、国による三位一体改革の具体的内容と、それぞれの本市財政への影響額及び税源移譲額を示されたい (5) 三位一体改革の、平成 17 年度以降の本市財政への影響の見通しはどうか伺う (6) 平成 16 年度予算編成において、財政調整基金・減債基金は、それぞれ幾らずつ取り崩し、その後の残高は幾らか。また、この残高は、平成 17 年度以降の財政運営に対応できる金額か伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 鳥インフルエンザについて	(1) 高病原性鳥インフルエンザにかかった鶏の具体的な症状について伺う (2) 那覇市内の養鶏農家数と鶏の数、県の立ち入り検査の結果について伺う (3) 小中学校や保育所での鶏等の実態調査について伺う (4) 鳥インフルエンザの那覇市の取り組みについて伺う (5) 異常な鶏等が発見された場合の対応について伺う
		3 施政方針について	平成 16 年度予算編成にあたり、「事務事業の見直しなどを行いました」とあるが、具体的にどのような事業を、どのように見直したのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 16 年 3 月 1 日（月）

順位	氏 名 （ 会 派 名 ）	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	唐 真 弘 安 （ 市民の会 ）	1 市長の基本 姿勢について	（ 1 ） 日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定（地位協定）の改定要求 市民大会を提言する （ 2 ） イラクへの自衛隊派遣について 人道復興支援を目的に国論が二分された中で、自衛隊がイラクに派遣されたが、これについて市長は、どのような見解を持っているか 沖縄の基地から、米海兵隊 3,000 人がイラクへ派遣されとの報道があるが、市長はこのことについて、どのような見解を持っているか イラクへの自衛隊派遣は、大量破壊兵器が発見されていない中で、大義なき戦争に加担することになると考える人々もいるが、これについて市長の感想を伺う （ 3 ） 昨今、新聞をはじめマスコミを通して大きく報道されている、米軍の再編と基地の整理縮小について、市長の見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 文化行政について	琉球進貢文物品里帰り沖縄特別展について、その意義と概要について当局の考え方を伺う
		3 労働行政について	(1) 沖縄県下依然として厳しい状況下にある雇用失業問題に対して、本市は平成 16 年度の雇用対策を示してもらいたい (2) 県においては、若年求職者による空き店舗を活用した起業支援事業を実施しているが、平成 15 年度に続き、県と協同で国際通りの活性化事業の目玉の一つとして取り組んでももらいたい、当局の所見を伺う
		4 公園行政について	久米郵便局跡地利用計画の経過と、広々として素晴らしい更地になった現在の状態を見て、市民の多くは、この広場はどうなるのだろうと思って側を通っている 特に本員は、福州園との関連に注目している。何年後にはどのような姿になるか、市民の前に説明願いたい
			【答弁を求める者】 市長

代表質問（１日目） 平成 16 年 3 月 1 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	中 村 昌 樹 (市民・社社 ネット)	1 施政方針について	市長は、市政運営の基本姿勢ということで、この３年間の市政を、職員の意識改革と市民サービスの改善。市民参加の促進と環境問題。民間委託の推進。平和と国際交流の推進の４項目を軸に、自らの市政運営の特徴的総括を述べている 「市役所は市民に対する最大のサービス産業」というテーマのもと、「市民あつての行政」という強い思いで、全力で走ってきた。そして、成果をつくり上げたと自己評価をしている まず、ごみ問題において、南風原町民の信頼を得るため、100 回以上も足を運び努力を続けたことは、立場を超えて「フェア」に評価をしたいと思う 振り返れば、私も昭和 48 年に高校を卒業し、18 歳で那覇市役所職員として採用され、議員としての今日まで約 30 年余、那覇市の行政と直接かかわってきた。そういう立場で私なりに那覇市の行政運営を３つの区切りで整理をしている いわゆる、市長が言う「長すぎた革新の 32 年」は、まず、第 1 期平良良松元市長が市政を運営していた。異民族支配から祖国復帰をはさみ、戦後処理という極めて「政治の時代」であった それを受けて親泊前市政は、「行政の確立・安定の時代」であった。これが第 2 期である。 そして、その後の市政は、どなたが市長になるうが、「行政の経営の時代」と認識している (1) 「行政の経営」「事業の成果」「行財政改革」の視点から、翁長市政の３年間の成果を検証してみたいと思う。以下の点について質問する 経営改革アクションプランの現状について 過去 7 年間の経常収支比率について 過去 7 年間の那覇市の人口と世帯数の推移について 過去 7 年間の税収の推移について 市民課窓口の時間延長及び土日窓口の実績について、説明していただきたい

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 次に、主要事業について質問する 市街地の整備から「旭橋都市再開発」事業の現状について 総合交通体系の整備の中の「コミュニティバスの運行実験」後の事業計画について 水の供給と処理の再生水利用下水道事業について、「既成市街地」の配水管の整備事業について 「美ら島の環境共生都市」のゼロエミッションと環境保全・廃棄物処理から、ごみ減量目標 25.8 % 達成の具体的施策と約 22 % 減量の主なる要因、今後のごみ減量のターゲットについて また、新ごみ処理施設の整備事業における元請・下請関係の状況、特に下請け工事の市内業者への発注状況、契約請負金及び代金支払いの適正化について この間のゼロエミ事業の内容と事業予算及び事業の進捗状況、新年度の事業について 学校教育の充実で、2 学期制試行の進捗状況と予算について 商工業の振興「那覇市企業立地促進・雇用拡大助成事業」の今日的成果について 農水産業の振興の「都市型農業の育成、農家の経営の安定及び改善事業」の具体的内容と農家に直接係る事業予算について 行財政基盤、執行体制の強化について、ISO9001 の適用範囲の拡大を行うとあるが、現状はどうなっているのか。同じくグループ制の現状は、どうなっているのか さらに、政策調整監ポストの今日的役割と必要性を、説明していただきたい

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		2 議案第 22 号 那覇市一般会 計予算につ いて	(1) 臨時財政対策債の 3 割削減は、どの時期に判ったのか、経過を説明していただきたい (2) その後の対応は、どうしたのか (3) 事務の見直しは、どのように行ったのか、説明していただきたい (4) 国の三位一体改革が大きな原因であるが、財政の見通しの甘さはなかったのか。あるいは、借金をあてにした財政運営ではないのか、見解を説明していただきたい (5) また、次年度以降の見通しはどうか、説明していただきたい (6) 国民いじめ、市民いじめ、自治体いじめの小泉自公内閣に、市長はどのような立場を取るのか、見解を聞かせていただきたい
		3 議案第 19 号 平成 15 年度那覇市市街地再開発事業特別会計補正予算(1 号) について	歳入歳出 2 億 5,526 万円の減額提案が、「施行主体となる旭橋都市再開発株式会社の設立の遅れ、会社執行体制の確立や事業資金調達の確保に時間を要したこと」を理由にしているが、平成 15 年 2 月定例会で、議会が指摘した不安が的中したと思うが、市長の見解を聞かせていただきたい
		4 議案第 14 号 平成 15 年度那覇市一般会計補正予算について	モノレール貸付金の 19 億 2,600 万円の減について、その理由及びその後、市はモノ側側どのような指導を行ったのか。モノ側側の責任問題はないのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、政策調整監、関係部長

代表質問（１日目） 平成 16 年 3 月 1 日（月）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	比 嘉 京 子 (市民・社社 ネット)	1 平成 16 年度 施政方針につ いて 2 平成 16 年度 新規事業につ いて 3 児童虐待へ の対応につい て	(1) 那覇平和芸術祭の具体的な内容について 伺う (2) 那覇市ぶんかテンプス館の管理運営にあ たり指定管理者制度を活用することだ が、その制度の目的、選定方法、役割につ いて伺う (1) 平成 15 年度実施の保育等支援事業におけ る認可外保育施設への保育士の派遣期間を 延長する見通しはあるか伺う (2) 「健康なは 21」策定の時期と実施行動計画 を伺う (3) 「健やか親子なは 21」の策定にあたり、こ れまでの母子推進事業の課題を、どう反映 させていくか考え方を伺う 厚生労働省のまとめによると、平成 14 年度に 全国の児童相談所が受けた虐待相談の処理件数 は、2 万 3,738 件で 10 年前と比較して 17 倍の 増加という。大阪府岸和田市で起きた中学 3 年 生の虐待事件に関連して、本市の対応体制を 伺う (1) 本市の相談件数及び相談経路について 伺う (2) 本市の対応の現状と職員数を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育支援室 の設置について	(3) 相談を受けると、どのように対応しているか。また、立ち入り調査に至ったケースは過去にあったか伺う (4) 保育所(園)、学校は虐待を発見しやすい立場にあるが、発見後の対応はどうなっているか伺う (5) 虐待防止ネットワークの機能について伺う 本市の遊び・非行型の不登校生徒は、全国の割合が12%なのに対し41%と高く、約150人である。児童も加えるとさらに高いことが予想される。本年度の重点課題として、青少年センターに教育支援室を設置するということである (1) 対象となる児童生徒の人数及び期間を伺う (2) 支援員の体制を伺う (3) 支援の基本的方針と活動内容を伺う (4) 全国比より高い背景と今後の課題について伺う (5) 児童生徒の居場所づくりが必要とされているが、本市の計画を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 食教育の実施に向けて	自民党は食育基本法の骨子を固め、早ければ3月中に議員立法で国会に提出される見通しのようである。その内容は、食育を知育・徳育・体育の基礎と位置づけ、国、自治体は食育を推進しなければならない、学校、保育所の教員、保育士は食育を推進する活動を行う努力をしなければならないなどが盛り込まれているようである (1) 学校では「自己管理能力の育成」が求められ、「総合的な学習」などの年間指導計画に「食」を位置付けて指導することを厚労省検討委員会は提案しているが、本市の今後の取り組み計画について伺う (2) 保育所ではどう取り組むか伺う
		6 農業行政について	本市の農業従事者の実態は、本市以外の自治体の農業振興地域で近郊農業を行っているのが現状である。その結果、その地域の農業従事者が受けることのできる補助金制度(事業の8割)を本市の農業従事者は受けていない。この現状を打開するための支援施策も皆無である。よって市長が他の自治体に要請することが必要であると考えが見解を伺う
		7 政治活動用ポスター等の掲示について	公職選挙法第143条第16項及び同条第19項の規定により、任期満了の6カ月前の日から選挙の期日までの期間は、候補者等の政治活動のために使用される当該候補者を表示するポスター(講演会開催の周知であっても)は、選挙区内に掲示することが禁止されているが現在掲示されている。このことについて市長の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、選挙管理委員長、関係部長

代表質問（１日目） 平成 16 年 3 月 1 日（月）

順位	氏 名 （ 会 派 名 ）	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	座 覇 政 為 （ 自 民 ク ラ ブ ）	1 市長の政治姿勢について 2 三位一体改革と本市財政について 3 福祉行政について 4 教育行政について	（ 1 ） 市長は、施政方針の中で市町村合併を検討していくと述べたが、どことどういう方法で、いつまでに合併するのか伺う （ 2 ） ふるさと創生資金の 1 億円は、那覇市の場合はどうなったか伺う （ 3 ） 市長の公用車廃止からリースによる復活はなぜか。予算額、契約相手方、契約方法を車両、運転手に区分して説明せよ 三位一体改革の国庫補助負担金の改革、税源移譲等、地方交付税の改革に区分し、那覇市の該当する項目、さらに各省庁分にわたり影響額を説明せよ （ 1 ） 本市における生活保護の受給者は、どういう傾向にあるか。特徴、人員、保護世帯の高齢化はどれだけか。また、単身世帯、障害世帯はどうか。関連してこれらの方々の自立支援策はどういうもので、効果はあるか伺う （ 2 ） 平成 13 年度、14 年度の離婚件数はどうなっているのか。児童扶養手当の支給状況はどうか伺う （ 3 ） 社会福祉計画の策定は、どのようになっているのか。また、安易にボランティアに頼る傾向をどのように是正していくか伺う （ 4 ） ファミリーサポート事業は、本市と他市ではどう違うか。預かり保育についての取り組みはどうか伺う （ 1 ） 小中校生の学力調査について、沖縄県及び那覇市の傾向はどうか伺う。また、習熟度別授業を導入する計画があるかも伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(2) 通校通学区域の自由化について、那覇市はどのように取り組んでいるか。また、メリット・デメリットも説明せよ (3) 小中校等における英語教育の外人助手はどのような根拠で採用しているか。総務省の指導は、どうなっているか伺う (4) 小中校教員の教育職俸給表は、どうなっていくのか。準拠基準は何かを併せて説明せよ
		5 環境行政について	(1) 清掃事業について、ごみ収集運搬処理処分は、どういうふうになっているか伺う また、ごみ袋有料化はその後どのように検討されたのか、見直し作業について説明を求める (2) 財産管理について伺う (3) 最終処分場の現況と将来の計画は、どうなっているか
		6 人材育成のあり方について	那覇市の研修計画（平成 16 年度）はどのようなものか、メニューと費用、人員等について伺う。特に、外国派遣研修は、要綱を含め詳細に計上額を説明せよ
		7 塩漬け土地の解消について	那覇市土地開発公社は、幾らの土地を保有しているのか、地積簿価をもとに説明せよ。また、平成 13 年度、14 年度、15 年度は幾ら買い戻しをしたか。これも年度、地積価格に区分して説明せよ。最終的な解消に向けての処理方針を具体的に述べよ
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、代表監査委員、関係部長